

# わんにゃん通信

2019年  
12月号

新名

今年も終わりに近付いてきました。  
大掃除にお正月の準備と大忙しです。  
寒さも厳しくなってきましたので  
風邪など引かないようお気をつけて  
お過ごしください(#^\_^#)



## ●命に関わる冬に多い病気●

冬に注意が必要な病気はたくさんありますが  
今回は特に命に関わることもある病気二つに  
ついてお話していきます。

### ●一つ目は「**犬の甲状腺機能低下症**」です。

中高齢の犬に多く見られます。  
喉の気管の横にある甲状腺という臓器から、  
甲状腺ホルモンがうまく出なくなる病気です。  
甲状腺ホルモンには体の代謝を上げる作用があります。  
そのホルモンが不足すると食べ物を食べてもうまく熱を  
産生することができず、**低体温やむくみ、活動性の低下、  
皮膚のかさつき、脱毛などの症状**が見られます。  
冬に心配な点は、**重度の低体温**になり、生命のリスクが  
高まってしまう点です。



## ●二つ目は「猫の尿石症による尿路閉塞」です。

様々な年齢で見られ、一般的にはオスに多いとされています。  
狭い尿道に結石が詰まり、尿がまったく出せなくなって  
しまう病気です。1日程度でも重度の尿毒症に陥り、  
生命の危険があります。症状は血尿のほか、  
何度もトイレに出入りする、何度も排せつのポーズをとる、  
排尿していないなどです。



寒くなると人間も体調を崩しやすくなります。

ペットも同じです。

一般的に泌尿器や呼吸器、関節や運動器の病気が冬になると  
多くなると言われています。



### ●泌尿器の病気●

冬場、飲水量が減ると尿量が減るため、  
尿石症や膀胱炎を起こし血尿や頻尿になりやすいので  
水を多く飲ませるようにしてください。



### ●呼吸器の病気●

冷たい外気や暖房で乾燥した空気によって、  
喉の粘膜が弱くなり、風邪を引いて人と同様に  
くしゃみや咳をしやすくなります。定期的な換気や  
加湿を心がけてください。



### ●関節や運動器の病気●

寒いと体の血行も悪くなるからです。  
休日などにいつもと異なる急な激しい運動や長い散歩を  
したりすると、関節や靭帯を痛めやすくなります。  
徐々に体を温めてから運動させましょう。

